

# あなたの州議事堂



ミシガン州議会議事堂

お越しの皆様へ:

ミシガン州議会議事堂へようこそ。皆様にこの歴史的建造物である州議事堂の見学ツアーに参加して頂けることを嬉しく思います。

ミシガン州の州議事堂は優れた建築様式と芸術性において全国的にその価値が認められています。州議事堂はミシガン州の最も重要な歴史的建造物であり、また誇りの象徴でもあります。残念ながらこの議事堂は長年の使用と老朽化の進展および不十分な修繕のためにその歴史と美しさが失われようとしていました。

そこで、ミシガン州議会は1987年に**ミシガン州議会議事堂委員会**を設立し、歴史建造物の画期的な修復事業の担当として任命しました。議会議事堂の修復作業は1989年に開始され1992年に終了しました。その成果に対して、**歴史保存のためのナショナル・トラスト**からアメリカ国内で最も荣誉ある賞が授与されました。1992年にはアメリカ国立公園局 (National Park Service) によって、**アメリカ国内で最も重要な歴史的建造物の一つとして国定歴史建造物 (National Historic Landmark)** に指定されました。しかしながら、州議事堂は博物館として使用されているわけではありません。生き生きとした活気あふれる過去の様子を再現しながらも、現在でもミシガン州の人々の生活を支える現代的で効率的な州政府の所在地として機能しています。

この壮大な州議事堂は1879年1月に創建されました。当時のミシガン州知事クロスウェル (Croswell) は落成式の演説において、「この議事堂はミシガン州市民の誇りとし愛するもの、精神、そして進取の気性を象徴する。」と述べました。そして113年以上後の1992年11月、州議事堂修復事業の成功を祝し、また次なる100年間のミシガン州市民へのサービスにおける成功を祈願する催しが開かれました。

# あなたの州議事堂



ミシガン州議会議事堂

1992年11月19日 修復

---

この情報はミシガン州市民に無料提供されています

転売のための複製又は複写等を禁じます。

(Rev. 8/09)

PAPER  
**MI**  
MADE

100%  
Recycled  
Paper

ecosmart  
GREEN INKS

This translation was supported in part by a grant from The Friends of the Capitol

We would also like to thank:

Colleagues International of Kalamazoo, Michigan

Japanese translator – Takashi Okada

The Michigan Capitol Committee

The Legislative Service Bureau Printing Division

非営利団体である Friends of the Capitol より、この翻訳作業への助成金を頂いております。  
この場をお借りして厚くお礼申し上げます。  
また日本語版ガイドブック作成にご支援頂きました下記の関係者・団体各位に心から感謝  
申し上げます。

非営利団体：Colleagues International of Kalamazoo, Michigan

翻訳者：岡田 孝 (Colleagues International)

州政府機関：The Michigan Capitol Committee

The Legislative Service Bureau Printing Division

# 見学ツアーを開始する前に

ミシガン州が誇る州議会議事堂の見学ツアーをどうぞお楽しみ下さい。1992年にアメリカ国立公園局 (National Park Service) によって、アメリカ国内で最も重要な歴史的建造物の一つとして**国定歴史建造物** (National Historic Landmark) に指定されました。その理由は？

## 芸術の記念碑として：

見学ツアーの中で特に注目されるのが息をのむほど美しい円形大広間、壮麗な通路と本会議場、そして良質のクルミ材の木工品と優雅な大理石の柱です。でも気をつけて見て下さい！実は1880年代当時には非常に高価だった大理石とクルミ材の木工品は、マツ材、漆くい、スズや鋳鉄などの比較的安価な材料によって模造されています（当時の州政府は財政上の制約のため高価な材料を入手することが困難でした）。9エーカー以上におよぶ壁、天井、木工品、そして柱は鮮やかな色彩と精巧なデザイン、そして塗装芸術にかかわる技術の数々を駆使して、手作業によって描かれています。そして、ほとんどの見学者は大理石柱が実は鋳鉄製であることに、またクルミ材の木工品が実はペイントされたマツ材であることに気づくことができないほど、現在それらは細部にいたるまで完璧に修復されています。ミシガン州議会議事堂はアメリカ国内でヴィクトリア朝時代の塗装装飾芸術を代表する建築物の一つとして際立っています。

## 建築家の記念碑として：

イライジャ・マイヤーズ (Elijah E. Myers: 1830?-1909) の名は、彼のミシガン州三代目の議事堂のデザインがアメリカの全国コンクールで賞を獲得するまで、事実上ほとんどの人に知られていませんでした。20を超えるデザインの中からマイヤーズの作品が選ばれた理由は、唯一彼の設計・デザインが公示されていた120万ドルの予算内で、若く成長を続けるミシガン州にふさわしい威厳と気品のあるデザインと、そして優れた耐火建築であるという要求を同時に満たしていたからです。

マイヤーズは新しい州議事堂の建設を監督するためイリノイ州スプリングフィールドからミシガン州デトロイトにすみやかに引越しました。彼のミシガン州議会議事堂の設計・デザインは大きな賞賛を集め、また彼の建築家としてのアメリカ全土に及ぶ成功の出発点となりました。そしてすぐに、マイヤーズはアメリカで最も注目を集める、また最も多作の建築家の一人として活躍しました。1909年に永眠するまで、マイヤーズはアメリカの歴史の中で他のどの建築家よりも多くの州議会議事堂の設計に携わりました。今日においても、ミシガン州、テキサス州、そしてコロラド州の議会議事堂が彼の偉大な建築家としての業績を証明し続けています。

## アメリカの歴史の記念碑として：

マイヤーズは米国の首都ワシントンにあるアメリカ国会議事堂の改装 (1851-1963) から着想を得た初期の建築家の一人でした。彼は、合衆国議事堂の新しく堂々とした鋳鉄製ドームは激戦が繰り広げられた南北戦争において、ミシガン州が多大な犠牲を払い救援した北部諸州連合、そしてアメリカ合衆国を象徴する、という認識を持っていました。マイヤーズの、非常に背の高い中央ドームと左右にバランスよく伸びる建物の翼によって米国議会議事堂の姿を反映したミシガン州議会議事堂のデザインは、アメリカにおける彼の成功に直接つながりました。彼のデザインは、アメリカ全土におよんだ南北戦争後の州議事堂建設の最盛期におけるモデルとして即座に注目を集めました。マイヤーズはドーム型の州議事堂のデザインをアメリカ合衆国とアメリカ民主主義の象徴として確立しました。

## ミシガン州の宝を大切に保存しています

私たちの目標は、州議事堂がミシガン州政府の拠点としてとして少なくともこれから100年以上にわたってその美しい姿を保てるようにすることです。私たちのスタッフは保存のための維持管理 (preservation maintenance) に専心しています。私たちは、建物の歴史、芸術、そして建築様式を尊重することによって、また適切な維持管理をすることによって州議事堂の耐用年数をいつまでも長くできると信じています。

### 皆様へのお願い

**塗装面には手を触れないで下さい！**

壁、“大理石”の柱、そしてクルミ材の木工品など、皆さんが目にする物のほとんど全ての表面は手作業による塗装・彩色が施されています。これらの非常にデリケートな芸術作品の保存にどうぞご協力をお願いします。

- ・壁、柱、または木造装飾に寄りかかったり、物を立てかけたりしないようお願いします。
- ・塗装・彩色された表面部分に手を触れないようお願いします。手を触れた後に残る指を、この美しい手作業によって塗装・彩色された表面部分を損傷することなしに洗い落とすことはほとんど不可能とされています。

### 安全性を保つために

皆様のご見学が有益で興味深く、そして「安全」に行われるよう細心の注意が払われています。

- ・ 鋳鉄製階段 (Grand Stairs) を注意してお使い下さい。お子様が階段上で飛び跳ねたり走ったりしないようご注意ください。
- ・ 円形ドーム吹抜けにある各階フロアの手すり (rotunda railings) の上に物をのせたりしないで下さい。手すりの上にカメラや携帯電話を置くと、それらは滑り落ちて下にあるガラス床を傷つけてしまいます。カメラはストラップを手首に巻きつけたり首にかけたりしてお使い下さい。

さらに詳しくお知りになりたい方は、、、

議事堂見学ツアー案内所 (The Capitol Tour and Information Service), 電話番号: (517) 373-2353 は週5日制でガイド付きのツアーと、ミシガン州議事堂及び政府についての即答レファレンスサービスを提供しています。見学ツアーの所要時間は約1時間です。ツアーは議事堂正面 (東側) 1階 (ground floor) 入り口にある案内所 (the Information Desk) から出発します。

見学ツアーは月曜日から金曜日の午前9時から午後4時の時間帯に実施されています。所要時間は約1時間～1時間半です。州議事堂は土曜日と日曜日、そして州の祝祭日は閉館となります。

# はじめに州議事堂の歴史について、、、

## ミシガン州の三つの議会議事堂

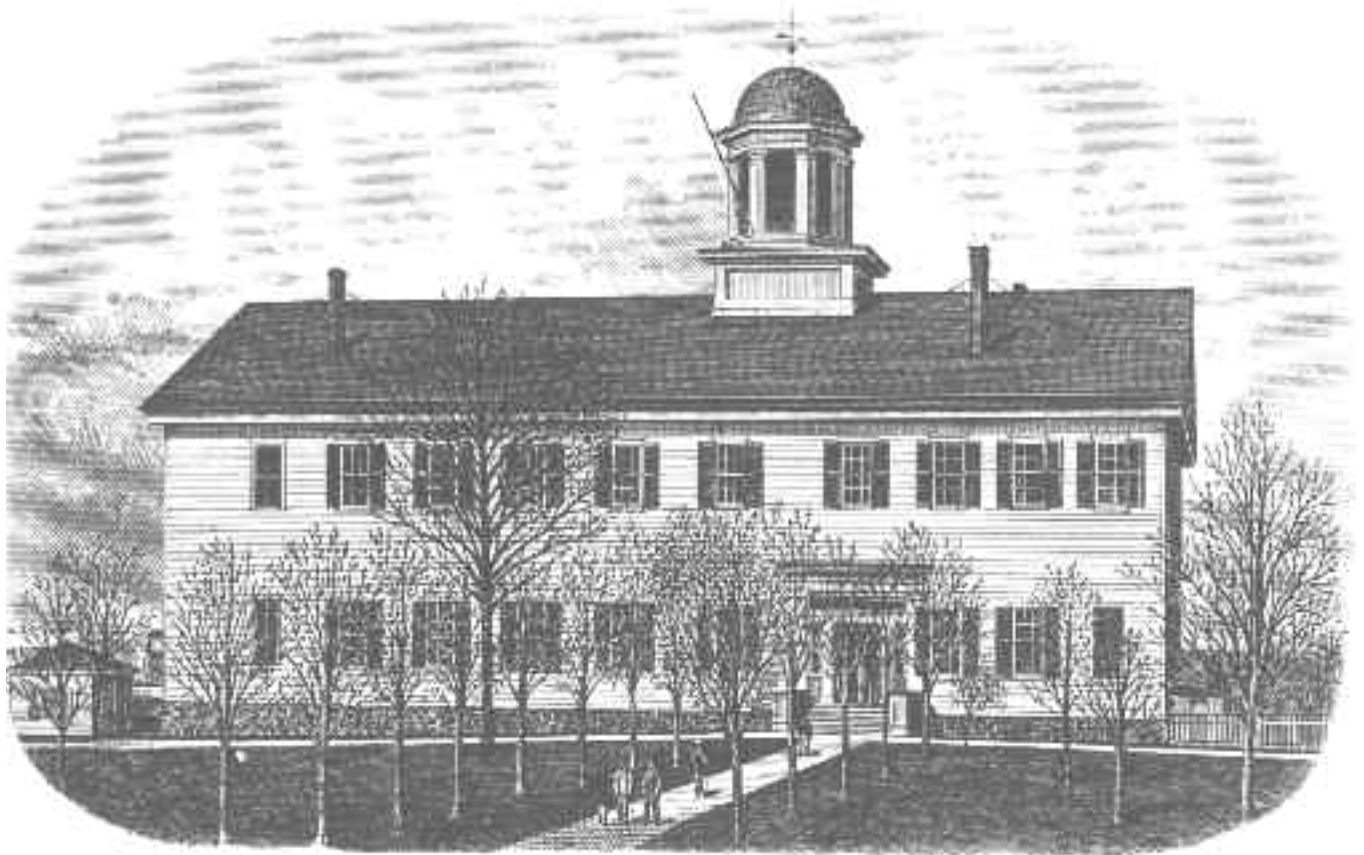
**最初の州議事堂：**当初、ランシング (Lansing) はミシガン州の州都ではありませんでした。1660年代には早くもフランスの毛皮商人や宣教師たちは五大湖北部周辺を旅していました。そして1668年には、イエズス会布教団が拠点としていたスーセントマリー (Sault Ste. Marie) が最初のヨーロッパ人永住入植地となりました。その場所は現在のミシガン州北東部の港市にあたります。ミシガン州南東部の都市、デトロイト (Detroit) は1701年に設立後すぐに五大湖東部地域における最も重要な入植地となりました。

100年以上にわたるフランスとイギリスの支配の後の1787年、ミシガン地域は北西部地方 (Northwest Territory: 五大湖、ミシシッピ川とオハイオ川に囲まれた地域)の一部としてアメリカ合衆国政府によって留保されました。ミシガンの領土は1805年に確定され、ウィリアム・ハル将軍 (General William Hall) が最初の知事として任命されました。1805年7月1日、デトロイトはミシガン準州の首都として指定されました。

1837年にミシガンは連邦に加入し、デトロイトはミシガン州の州都として指定されました。そして領内裁判所 (territorial courthouse) が最初の議会議事堂として急場の代用として利用されました。最初のミシガン州憲法には次の条項が載せられました、「デトロイトの首都としての地位は1847年までとする。『州議会によって恒久の州都は新たに定められることとする。』」この文言は激しい議論を呼び、州議会議員たちはそれぞれの所属する地域が州都としての名誉の座を得られるように激しく争いました。



最初のミシガン州議事堂はデトロイトにありました。1847年に州都がランシングに移されて後、最初の議事堂は学校として使用されていましたが、1893年にその建物は火事のために失われました。



Wilson, J. A. & Seymour, D. Chicago

ミシガン州の二代目議事堂は1847年から1848年の冬期に建設されました。1878年の後半に三代目の州議事堂が建てられてから後は、“オールド・バーン (the Old Barn)”と呼ばれた二代目議事堂は売却され、事務所や製造所として使われました。

**二代目州議事堂：**賛否両論ある中、インハム・カウンティー (Ingham County) に土地を所有する投資家、ジェイムズ シーモア (James Seymour) がランシング・タウンシップに皆の注目を集めました。数ヶ月にわたる議論の後の1847年3月16日、州知事はインハム・カウンティーのランシング・タウンシップを新州都とする法案に署名しました。その決定は周囲の者を非常に驚かせました。なぜなら、ランシング・タウンシップには当時一つの村さえも存在しない荒涼とした土地だったからです。

州議会は来る1848年1月にその“荒涼とした州都 (wilderness capital)”で開かれねばならなかったため、少しの時間も無駄にすることなく州議事堂の建設が進められました。1847年の終わり頃、木造の仮議事堂が大急ぎで建築されました。そしてすぐに、仮議事堂の周辺に移住する人々が出始め、またその数は少しずつ増えていきました。その場所は当初ミシガン州のミシガン (Michigan, Michigan) と呼ばれましたが、数ヶ月の後、この紛らわしい地名はランシング (Lansing) として改められました。1847年からミシガン州の州都となったランシングは、実は1859年になってようやく正式に自治体として認められた「市」となりました。

ミシガン州二代目の“仮”議事堂は設立当初からあらゆる面において不十分な施設でした。しかし、より立派な議事堂の建設はアメリカ南北戦争 (1861-1865) の終結まで待たなければなりませんでした。1865年に16フット (約メートル) の増築がなされましたが、1871年にヘンリー・ボールドウィン (Henry Baldwin) 州知事が、より大きく耐火性に優れ、またミシガン州の政庁所在地として相応しく威厳のある議事堂の建設を提案するま、大きな変化はありませんでした。そして州議会はその提案を承認しました。



三代目州議事堂：新たな州議事堂建設のための委員会が即座に任命され、わずか120万ドルの予算内で立派な議事堂を建設することができる建築家を選ぶために、アメリカ全土におよぶ建築デザイン・コンテストが開催されました。1872年1月その受賞者が公表されました。“Tuebor (トゥエイボア)” (ミシガン州紋章に記された銘、“I will defend (守り抜く)”を意味する) と名づけられた建築デザインが選ばれました。それはイリノイ州スプリングフィールドの建築家、イライジャ・マイヤーズ (Elijah E. Myers) によって提出されたデザインでした。



1872年着工。1873年10月2日に催された定礎式ではかつてないほどの壮大な式典が挙行されました。地域の住民は彼らの家を開放し、州全土からランシングに訪れた人々が利用できるようにしました。

ランシングで製造された膨大な数のレンガが議事堂の壁や天井に使われましたが、他の多くの建築材はアメリカ全土及び国外から集められました。外壁用の石はオハイオ州から、ドーム及び床張りに使う鋳鉄はペンシルバニア州から、床に使用する大理石と石灰石はバーモント州から、そして屋根に使われるスズは英国ウェールズから集められました。ミシガン州産の建材は特別には優先されませんでした。むしろ、生産地にかかわらず最高の建材を最も安く入手できるよう配慮されました。最終的にかかった建築費用 \$1,427,738.78 は、当時における州議事堂建設費用としては大変質素な金額でした。



1875年、建設途中の州議事堂。クレーンが建設済みの3階上部に伸びています。

ギリシア・ローマの伝統的な建築様式を基調とするその建築様式はしばしばルネサンス・リバイバルまたは新古典主義と呼ばれます。古代ギリシアの芸術様式であるドリス式、イオニア式、そしてコリント式の装飾柱は建物外観と内部を華やかに飾っています。5階建ての議事堂中央棟は州議会会議場がある翼棟をバランスよく両側面に配置し、そして中央棟上部には高くそびえる、特徴的で優雅な鋳鉄製のドームを備えています。



Photo: State Archives of Michigan

建築家イライジャ・マイヤーズの不祥事のない建設工事と格調高く落ち着いたミシガン州議会議事堂の美しいデザインはアメリカ全土の注目を集めました。地元の住民は新しい議事堂を“ランシングのライオン(Lion of Lansing)”と呼び、とても誇りに思いました。

ミシガン州三代目議事堂は1879年1月1日に開所されました。残念なことに、激しい使用と不適切な改装、そして不十分な修繕のために議事堂の老朽化は加速されました。そのため1989年に修復作業が開始されました。そして後に、その業績に対して数々の賞が授与されるという大変な成功を収め、1992年に終了したその修復作業は長い年月のための老朽化と不適切な修繕によって傷んだ議事堂を元の姿に戻しました。またミシガン州の議事堂が将来にわたり長く活躍できるように新たな設備が整えられました。さらに、長い年月を通して気づかれることのなかった建物の隠された美しさがその修繕作業により新たに発見されました。

今日では、州議事堂はミシガン州の政庁所在地としてのみではなく、創造的刺激的の根源として、また州の誇りの象徴としての役割を果たしています。また同時に、州議事堂はミシガン州で最も広く認められる公開討論の場として、また抗議行動、集会、演説、そして特別な催しの舞台として使われています。この活気に満ち、広く皆に愛される建物は、21世紀とそして更なる未来に向かってミシガン州を導くための施設として新たに整備されました。

# 州議事堂の内部 (Inside the Capitol)

建物の中に入ると優雅で壮大なビクトリア様式の建築・工芸に出会えます。壮大なシャンデリアはガス灯として使われていた時代そのままに柔らかな灯りをともし、忠実に復元された壁と天井の色彩と模様を照らしています。そして数々の室内装備品は過去の時代の様子を再現しています。

## 州議事堂 1 階 (Ground Floor)

お手洗い：公衆トイレは建物 1 階、3 階、そして 4 階にあります。全ての施設は体の不自由な方にもご利用頂けます。

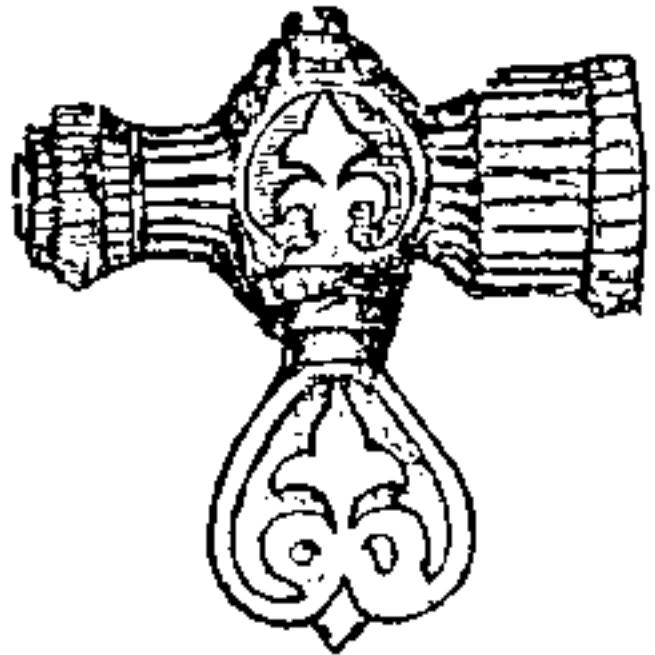
簡素で飾り気のない 1 階の様子から、壮麗な建物の上層階の装飾を想像することは難しいでしょう。もともと 1 階は一般公開用に設計されたものではありません。当初、建築家イライジャ・マイヤーズ (Elijah Myers) は倉庫及び兵器庫を 1 階に設置しました。1989 年から 1992 年の州都修復の間、議事堂の表玄関はセキュリティーの向上と利便性を考慮し 1 階に設置されました。案内所も 1 階に設置されています。案内所では議事堂ツアー、州都の歴史、そして議会議員及び官庁の場所についてご質問及びご確認頂けます。

州議事堂修復は外観及び内部の様子など、議事堂の原型をそのままに再現するよう細心の注意が払われました。1 階も例外ではありません。例えば上部にあるガス栓 (下図参照) なども照明装置のために忠実に復元されました。

1 階の内壁の漆くいとペイントは外壁の石細工に似せてデザインされています。より効果を出すためにモルタル継ぎ目が漆くいとペイントに使われています。多くの州議事堂がそうであるように、内壁の下部はマツ材の腰羽目で覆われています。また、良質のクルミ材に見えるように入念にペイントされています。

実用性と安全性を考慮し、必要な改良が加えられています。耐久性のあるグレイ・タイルがマツの床板の代わりに用いられています。照明器具にはガスの代わりに電気が使われています。特に大きな変化は、かつては議事堂内のいたるところに設置されていた痰壺 (たんつぼ) が取り除かれていることです。

通路がある室内中央部はドームの真下に位置しています。そこからドームを見上げると、ガラスの天井が実は上層階の円形広間の床であることがわかります。このドームは床と丈夫な壁によって支えられ、さらに鋳鉄製の柱によって補強されています。州議事堂の壁、天井、そして床にはいたるところで非中空レンガが使われています。レンガの使用により建物の構造は非常に強固になります。また、かつてほとんどの建物には木材が使用されていましたが、それら木造建築に比べると耐火性にも優れていました。



1 階シャンデリアのガスの開閉に使用されていたガス栓の原型。ガス管は天井に埋め込まれています。

## 州議事堂 2階 (First Floor)

階段は通路の北側と南側の両端に位置しています。また、西側（正面）及び北側にあるエレベーターもご利用頂けます。

かつて最高裁判所や州議会など全ての州政府機関、また知事及び司法長官や州務長官など様々な州の行政官のオフィスがこの州議事堂にありました。ここ2階にもいくつかの部署のオフィスがありました。しかしながら、今日では州知事、州副知事、そして州務長官を除く全ての政府機関は他の州の建物に移動しています。現在では、立法府の指導部がその場所をオフィスとして使用しています。北棟には下院議長、南棟には上院リーダーのオフィスがあります。

ドームの真下にある円形大広間の中央からツアーを開始してください。

円形大広間の床には 976 枚のガラス（厚さ約 1.6 センチメートル）が使われています。ガラス床の直径は約 13.50m です。円形大広間のデザインは目の錯覚を引き起こします。上から見ると広間中央がくぼんでいるように見えます。

下から光を照らすと、有名な州議事堂のガラスの床は建物内で最も美しく、そして思い出に残る光景を映し出します。

円形大広間の上部は約49メートルの高さのドーム天井まで開放的な空間が広がっています。アキュレス (Oculus)、またはドームの“目”と呼ばれる円形窓からは星の輝く空によって表現される広大な宇宙の様子を垣間見ることができます。その円形窓の周囲には 8 人の女性の絵画が飾られてい

ます。女性の絵はキャンバスに描かれ、直接ドーム内側に貼り付けられています。これらの絵は学問や芸術の創造的・インスピレーションを与えるミューズ (Muses) と呼ばれるローマそしてギリシア神話に基づく女神を表現しています。片手に絵の具のパレットを持った“芸術”の女神を見つけて下さい。芸術の女神から右に向かって農業、法、科学、正義、産業、商業、そして教育の女神の肖像が並んでいます。女神たちはミシガン州の人々に進歩と未来の繁栄のための手段をもたらします。女神の肖像は 1886 年にイタリアの画家トマス・ジャグラリス (Tommaso Juglaris) によって描かれました。当時ジャグラリスはボストンで絵画を教えながら創作活動を行っていました。ジャグラリスの名は 1992 年の州議事堂修復の際に再発見されるまで、100 年以上も人々から忘れられていました。



Photo: Dietrich Floeter

円形大広間の南北両側にある 1 階から 5 階までをつなぐ鉄製の階段はペンシルバニアで製造されました。階段の下部には美しい装飾が施されています。



Photo: Thomas Gemara

2階から見上げるドーム内側の様子は州議事堂の最も壮観な光景の一つです。

円形ドーム内部は人々に畏敬の念と靈感を与えることができるようデザインされています。皆様が見上げる星の輝く空を見上げる時のように、そこから限りない可能性を感じ取ることができるでしょう。女神たちもすぐそこにいて、私たちの目標や夢を実現できるよう導いてくれます。

円形大広間とドーム内部は州議事堂内の壁や天井と同様に手作業によって入念にデザインされた美しい装飾が施されています。州議事堂修復の際、9エーカー以上におよぶ手描きの壁画はオリジナルの様子が再現されるよう注意深く修復されました。

円形大広間の周りがあるケースに注目してください。1990年まで、そこにはアメリカ南北戦争（1861年1865年）の間にミシガン軍によって使われていた160を超える軍旗が大切に保存されていました。ミシガン州の9万人以上に及ぶ志願兵は北部諸州連合と奴隷制度廃止政策を助けることに貢献しました。その志願兵の数は、当時ミシガン州で軍に志願できる成人男性の半数以上もの人数を占めていました。

それらの軍旗の中には有名なファースト・ミシガン・シューターズ (First Michigan Sharpshooters) によって掲げられた旗が展示されていました。その旗は南北戦争の激戦地であり南部連合最後の砦であるピーターズバーグ (Petersburg) に立てられた一番最初の旗です。この出来事は4年の長く苦しい戦いの終わりが近いことを意味していました。現在は、旗の老朽・劣化の状態を考慮し、それらはミシガン歴史博物館で大切に保存されています。したがって、ケース内の旗は複製品です。



Photo: Mike Quillinan

1階の通路入り口は州議事堂設立当初の華麗さと技巧を今に伝えていています。主通路の修復の際には漆くい、ペイント、木材と大理石の腰羽目、木製ドア、そしてドア・フレームと窓が修復・強化されました。また、照明器具、大理石と石灰石のタイル床は新たに設置され、改善された標示システムが新たに取り入れられました。



Photo: David Trumple

この写真のように州議事堂の通路に明かりを灯す20のシャンデリアは特別にデザイン・製造されました。今日ではガスの代わりに白熱電球が使われています。

東側（正面）通路に向かって移動してください。

エレベーターの向かいの北側の壁には大きな“長振り”時計があります。この時計は少なくとも1886年以来この場所に設置されています。優に100歳を超える時計ですが、現在でも正確に時を刻んでいます。

ここには州議事堂のために特にデザインされた20の設備があります。上部にある壮大な鑄造金属製のシャンデリアはその一つです。“ミシガン”シャンデリアと呼ばれるこのシャンデリアは州の紋章からヒントを得たヘラジカと盾のデザインによって特徴づけられています。もともとこのシャンデリアにはガスが使われていました。長い間このシャンデリアはミシガンの銅で造られたと信じられていましたが、近年、様々な金属が使われていることが発見されました。



玄関広間の“大理石”の支柱と付け柱（壁面から突き出た断面方形の柱）、そして腰羽目に注目してください。実はそれらは大理石ではありません。大理石に見えるように手作業でペイントされていますが、支柱は鋳鉄で、付け柱は漆くいで、そして腰羽目はマツ材で造られています。予算の都合上、全てのビクトリア朝様式の豪華さは質素な原料と職人の優れた技巧によって体現されました。今日では、この州議事堂はアメリカ内で (Gilded Age) (南北戦争後の米国の好況時代) のペイント装飾芸術の傑作として評価されています。

最も顕著に特色を表すのは主通路にある格子じま模様の白黒タイル床です。白タイルにはバーモント州で産出された比較的経済的な大理石が使われています。黒タイルもバーモント州産の石灰石が使用されています。黒タイルを注意してご覧ください。黒タイルには約4億7千5百万年前のオルドビス紀の海産巻貝類とその他の海の生き物の化石が埋め込まれています。黒タイル内部の白く大きな巻貝類は (Maclurites) の化石と呼ばれる大型の巻貝に似た軟体動物の化石です。



Photo: Fred Golden

### 州議事堂3階 (Second Floor)

次に3階についてご説明します。

ここは知事の肖像画陳列場 (Gallery of Governors) です。2階の円形広間から3階にかけて歴代の知事たちの肖像画が展示されています。慣例として、知事は自費で肖像画を作成し、任期を終えて離任する際にミシガン州に自身の肖像画を贈呈します。肖像画は年代順に並べられており、新しい肖像画はこのフロアに、年代の古い肖像画は4階に展示されています。この場所の陳列スペースには14点の肖像画しか陳列できません。したがって新しい肖像画を加える時には最も古い肖像画は別の場所に移されます。

ここには議事堂内で最も変わった肖像画の一つがこの3階陳列場にあります。それは1961年から1962年に職務に就いていたジョン・スワンセン知事 (Governor John Swainson) です。ほとんどの見学者はこの肖像画は損傷を受けているのではないかと尋ねます。実際のところは、この画はわざとそのように見えるように描かれました。スワンセンがミシガンで2番目に若い知事として選出されたのは、彼が35歳の時でした。在任期間が短く、37歳の時に早くも離任したため、彼の未完成の肖像画はスワンセンの未達成のキャリアを象徴するよう描かれました。

円形広間から東側（正面）通路に向かって移動して下さい。

ここには知事のオフィスと応接室があります。忠実に再現された美しい議事堂内の部屋の中でも、知事室とこの応接室は特に注意して復旧されました。ミシガン州家具産業の文化遺産の証として、1876年にミシガン州サギノー市 (Saginaw) の Feige Brothers Company によって製造された備え付け家具をご覧ください。応接室の壁にはミシガン州歴代知事の白黒写真が陳列されています。この濃灰色を加えて強化した白黒写真はかつてここに陳列されていた写真の正確な複製品 (charcoal-enhanced photographs) です。その中の一つはこの三代目州議事堂で職務に就いた最初の知事、チャールズ・クロスウェル (Governor

Charles Crowell) の写真です。現在では、州知事はこれらの部屋を主として特別な機会、例えば法案に対して署名する催しや選挙有権者との会合、そして記者会見等に使用しています。

通路に通じるドアの取っ手に注目してください。議事堂中の取っ手やちょうつがいにはミシガン州の紋章が刻まれています。

皆様はすでにドア、ドア枠、窓枠、そして内壁の板張りにある“クルミ材”の木工品にお気づきのことでしょうか。ほとんど全ての議事堂内の木造部はクルミ材に見えますが、実はクルミ材ではありません。もともと建設費用を抑えるために州議事堂のほとんど全ての木工品にはミシガン州のマツ材が使われ、高価なクルミ材を模造するために注意深く手作業によって塗装されています。(化学染料に浸された木材ではありません!) 木目仕上 (wood graining) という手作業により7層の塗装を施す技術が使われています。全ての木目は、大変小さなくぼみにいたるまで、入念にペイントされています。完全に復旧されたそれら木工品によって、ミシガン州の議事堂は最も素晴らしいアメリカの伝統的な芸術を再現するものとして位置づけられました。

上院と下院会議場のロビー (lobbies of the House and Senate Chambers) はこのフロアの北と南の翼棟にあります。会議場における州議会議員の座席がすぐわかるように作成された座席配置図にご注目下さい。議会開会中は大勢の人々が会議を傍聴するために、また議員と話をするためにそのロビーにやって来ます。

次に下院と上院会議場の傍聴席がある上の階に参ります。

### 州議事堂4階 (Third Floor)

お手洗い：男性用トイレはこの階の下院傍聴席入口、女性用トイレは上院傍聴席入口付近にあります。どちらも体の不自由な方にもご利用頂けます。

下院と上院の会議場傍聴席はこの階にあります。皆様の傍聴は常時歓迎されております。会議進行中は席について傍聴しなければなりません。また、写真撮影のためのフラッシュおよび携帯電話の使用、そして飲食物の持込は禁じられています。忙しい時期には、傍聴席が空くまでのしばらくの間、傍聴席のある部屋への入室をお待ち頂くこともあります。傍聴席には車椅子を使用される方にもご利用できるスペースが確保されています。



Photo: Balthazar Korab

次に北棟の下院会議場傍聴席に進みます。

110名の議員を擁する下院会議場 (House of Representatives Chamber) は上院会議場よりも広いスペースを持ちます。それぞれの下院議員はおよそ 90,000 人の有権者を擁する選挙区から2年の任期で選出されます。全ての議員は指定された座席につきますが、伝統的に民主党員 (Democrats) には演壇に向かって会議場左側、共和党員 (Republicans) には会議場右側の座席が与えられます。司会は下院議員によって選出される下院議長 (Speaker of the House) が行います。

下院会議場の修復作業は 1990 年 4 月に完了しました。元の 1878 年から使われている机は表面の再仕上げが施され、会議場先端に位置する曲線を描く演壇部分は再建され、そして歴史的な照明機器は修復されるかまたは写真を基にして複製されました。会議場のカーペットは元のデザインを基にしています。

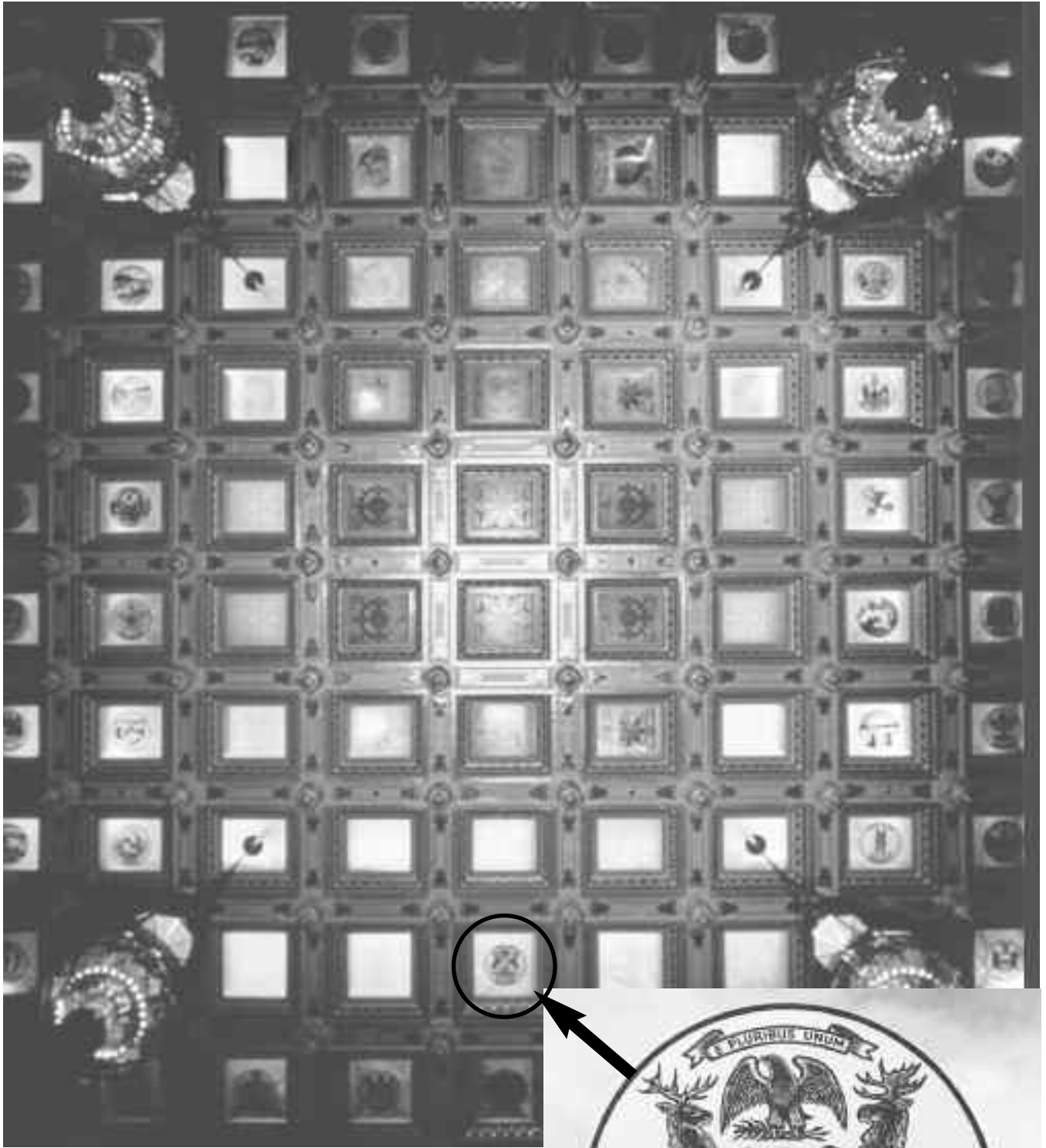
もともと投票は挙手により賛成 (ayes) と反対 (nays) の決を採ることによって行われていました。現在では点呼と投票は電子装置で行われています。議長演壇両側にある電光掲示板をご覧ください。それらは使用されていない時は周囲の壁と一体となり、電光掲示板としてはほとんど気づくことができないように注意深くデザインされています。このようにして、現代的な効率性を犠牲にすることなく会議場の歴史的なたたずまいは守られています。議員は机と机の間に配置されたコンソール上の色付きボタンの一つを押すことによって投票します。緑色のボタンは賛成票、赤色ボタンは反対票を投じるために使用されます。どの議員が賛成・反対のどちらの票を投じたのかは、電光掲示板にある議員の氏名上に表示される緑または赤色のライトによって確認できます。その他の色のボタンは、例えば棄権を意味したり、反対票を投じた理由を表明したい意向を示す役目を果たしたりします。

議長席後方の壁には漆くい、うわ葉、塗装、そして金の葉飾りで装飾が施された壮大なミシガン州の紋章が掲げられています。その中央にはアメリカ合衆国の象徴である白頭鷲を中心にしてその左側にヘラジカ、そして右側にムースを配置しています。白頭鷲の上部には合衆国のモットーである「多数からなる一つ」が、“E pluribus unum,” とラテン語で書かれています。盾は “I will defend (守り抜く)” を意味するラテン語 “Tuebor (トゥエイボア)” を帯びています。下部には昇る太陽の光を浴びる半島にそびえ立つ像があります。最下部にある旗には “If you seek a pleasant peninsula, look about you” (もし素晴らしい半島を求めるならば、あなた自身の周囲を見回すこと) を意味するミシガン州のモットー “Si quaeris peninsulam amoenam circumspice” がラテン語で描かれています。ミシガン州のモットーが作成された当時、Upper Peninsula (上ミシガン半島) はまだミシガン州の領土ではありませんでした。



Photo: Tim Burke, Michigan Department of Transportation





下院と上院会議場の格間（ごうま）で飾られた天井部は修復されました。手作業によりエッチングで描かれたルビーと白色のオリジナルの鏡板はすでに失われていました。そのためそれらは下院ではプラスチック、上院では合板に取り替えられました。複製品は 50 州全ての紋章とビクトリア様式のデザイン、そしてミシガン州に由来するデザインによって特徴付けられています。ミシガン州の紋章（右下の写真）をご覧ください。空から降りそそぐ自然の光は、このガラスパネルを通じて会議場を照らします。



ミシガン州の紋章に由来する州印 (the Great Seal of the State of Michigan) は、1835 年にミシガン準州の元知事であるルイス・キャス将軍 (General Lewis Cass) によってデザインされました。彼の肖像画は東側の壁に掛けられています。それは会議場演壇に向かって右側の皆様に最も近いところにある肖像画です。I will defend (守り抜く) ”を意味するラテン語“Tuebor (トゥエイボア)”は、ミシガン州は国境に位置する州として外国からの侵入・攻撃を第一線において防ぎ、アメリカを守る義務を負うというキャス将軍による注意書きです。

反対側の東側壁面にあるのはスティーブンス・マンソン (Stevens T. Mason) の肖像画です。彼は“Boy Governor” (少年のような知事) と言うニックネームを持つ、アメリカの歴史上最年少の州知事であり、またミシガン州の最初の知事でした。この肖像画はデトロイトの芸術家アルビン・スミス (Alvin Smith) により実物を見て描かれ、31 歳で永眠した最年少知事のイメージを今日まで最もよく伝えていきます。

円形ドーム吹抜けにあるフロアの手すり (rotunda railings) に向かって進んでください。

お子様が手すりの上に登ったり、手すりから身を乗り出してのぞきこんだり、またお子様の頭が手すりを越えないようご注意ください。手すりの上に物をのせたりしないで下さい。カメラがストラップでしっかりとつながれていない場合、カメラを手すりの向こう側に持って行かないよう注意して下さい。

再び Gallery of Governors (知事の肖像画陳列場) に参りました。ドーム頂上部内側にある八つの寓話的な女神の肖像 (muses) とドームの“目”と呼ばれる円形窓 (oculus) がご覧頂けます。下を覗くと、目の錯覚を引き起こすガラス床がまるでお椀または逆さにしたドーム内側のように見えます。

ここから上院会議所 (Senate Chamber) の傍聴席へ移動することができます。38 名の議員からなる上院会議場は下院会議場よりも小さいサイズに造られています。それぞれの上院議員はおよそ 260,000 人の有権者を擁する選挙区から 4 年の任期で選出されます。司会は President of the Senate と呼ばれる上院議長が行います。また、上院議長は Lieutenant governor としてミシガン州知事を補佐したり、知事不在の際に代理する地位も兼ねます。

建築上はほとんど同じに見えますが、上院と下院の会議場はそれぞれ異なる配色を持ちます。下院会議場はテラコッタ色 (terracottas) と濃い灰色がかかった青色 (teals)、上院会議場は明るい青色と銀色に配色されています。どちらも黄金の葉飾りと着色したうわ薬で精巧にペイントされたデザインが施されています。格間 (ごうま) で飾られた天井部のルビーと白色のエッチングが施されたガラスパネルを通して、空から降りそそぐ自然の光が会議場を照らします。さらに下院と上院会議場ではそれぞれ六つと四つのオリジナルのシャンデリアが頭上に輝き、明るさを強化しています。それらは真鍮、鉛ガラス、そして耐火ガラスによって造られています。クリーニングの際には注意して床の近くまで下げられます。

上院と下院会議場の議員座席は基本的に同様に設計されています。上院・下院の堅固なクルミ材製の議員座席 (members' desks) は州議事堂の設計者、イライジャ・マイヤーズによってデザインされました (オリジナル・コストは非常に高く、一脚の単価当たり \$13.65 もしました!)。各議席側面にあるコンソールにはコンピューターと電話機が設置されています。また他の州議事堂の場所と同様に、会議場の修復作業は現代的な効率性を追求しながらも会議場の歴史的なたたずまいを大切に残すことができるように配慮されています。会議場の修復作業が完了した 1990 年 1 月に、ミシガン州議事堂は完全にコンピュータ化されたアメリカで最初の州議事堂となりました。

演壇の側面には肖像画が二つあります。演壇に向かって右側にあるのは、困難な南北戦争の続く 1861 年から 1864 年の期間にミシガン州を指揮し、“war governor (戦争知事)” と呼ばれたオースティン・ブレア (Austin Blair) の肖像画です。ブレア知事の像は州議事堂正面に建てられています。彼は議事堂広場 (Capitol Square) に像が建立されるという栄誉に輝



旧最高裁判所法廷 (the old Supreme Court Chamber) は現在では上院歳出予算委員会の会議場として使用されており、今でもそのオリジナルの特徴のほとんどを保ち続けています。議事堂の建築家、イライジャ・マイヤーズはこの法廷の詳細なデザインに特別の注意を払いました。クルミ材で造られた判事席のみならず、その背後にある大きな書棚も彼によってデザインされました。オリジナルのまま保存されている入念にペイントされた天井部は、管理・修復を担当する美術館員によりその保存に特別な注意が払われています。漆くいの安定化作業、小はがれ塗装部分の再付着、そして全ての天井部の注意深い清掃作業が施されました。カーペットはオリジナルに関する写真をもとに複製されました。現在では、議事堂内の最も壮麗な部屋の一つとして大切にされています。

から 1879 年の間、この新しい三代目議事堂で任務に就いた最初の首席裁判官です。

見学ツアーの終わりにあたって、、、

皆様、州議事堂の見学ツアーをお楽しみ頂きましたでしょうか。出発地点の 1 階 (ground floor) に戻るためには南棟・北棟にある主要階段 (Grand Stairs) または東側通路(旧最高裁判所法廷付近)にあるエレベーターをご使用下さい。

ご質問・ご意見などございましたら正面入り口近くのインフォメーション・デスクまでお戻り下さい。喜んで対応させて頂いております。

いたミシガン州の歴史上唯一の知事です。左側にあるのはアメリカ独立戦争においてアメリカを支援した若いフランスの貴族、ラファイエット侯爵 (Marquis de Lafayette) の肖像です。ミシガン州の初期の指導者たちはラファイエット侯爵に大いなる敬意を払いました。この肖像画はミシガンが州として昇格した 1837 年に入手され、初代の州議事堂から現在に至るまでずっと州議事堂に掛けられています。これらの肖像画の脇には、その使用時以外には気づくことがほとんど不可能な電光投票・掲示板が下院会議場と同様に設置されています。上院議長席の背後には、金色の漆くいとペイントが施されたアメリカ合衆国の国章、白頭鷲が掲げられています。

上院傍聴席を離れ、東側 (正面) 通路に向かって進みます。

ここには旧最高裁判所法廷 (the old Supreme Court Chamber) があります。1970 年に最高裁判所はこの議事堂を離れました。現在では、ここは上院歳出予算委員会 (Senate Appropriations Committee) によって会議と聴聞会のために使用されています。特別に高い天井を持ち、入念な装飾ペイントと装飾のためのしつこい上塗りが施されたこの部屋は、この議事堂で最も優美な部屋の一つです。ここは部屋の歴史と美しさを犠牲にせずに、その場所を新しい目的のために使用することができるということを証明しています。

オリジナルのシャンデリアとカーペットはずっと以前に廃棄されているため、歴史的な写真資料を手掛かりにしてそれらは再現されました。この優雅な部屋の壁は、浮き出しの漆くい、ペイント、そしてうわ葉によって表現されたポインセチアの花によって特徴付けられています。また、かつてこの部屋を統括した二人の元裁判長の肖像画が壁に掛けられています。とりわけ注目に値するのは部屋の隅の辺りに掛けられているジェイムズ・バレンタイン・キャンベル (James Valentine Campbell) の肖像画です。キャンベルは今日のミシガン州最高裁判所の創設に尽力しました。また彼は、最高裁判所の歴史における最も偉大な人物の一人とされています。彼は 1878 年

# 議事堂外側の様子について、、、

## 議事堂広場 (Capitol Square)

もしお時間がございましたら、議事堂敷地内を数分間ご見学されることをお勧めします。議事堂外側は州議事堂と調和し、議事堂をより引き立てるように注意深くデザインされています。オリジナルの計画は、葉の生い茂る緑のフレームで方形の境界線を造るための並木を必要としました。敷地内広場は、訪問者が遮るものなく議事堂建物の眺めを楽しめるようオープン・スペースとして設計されています。しかし、長年にわたり無計画に敷地内の至る所で樹木が植えられたために、オリジナルのデザインは次第に失われていきました。現在、その元のデザインは少しずつ回復されています。シンプルな方法として、間違っって配置された樹木が枯れた時、その場所にはもう何も植えないようにしました。

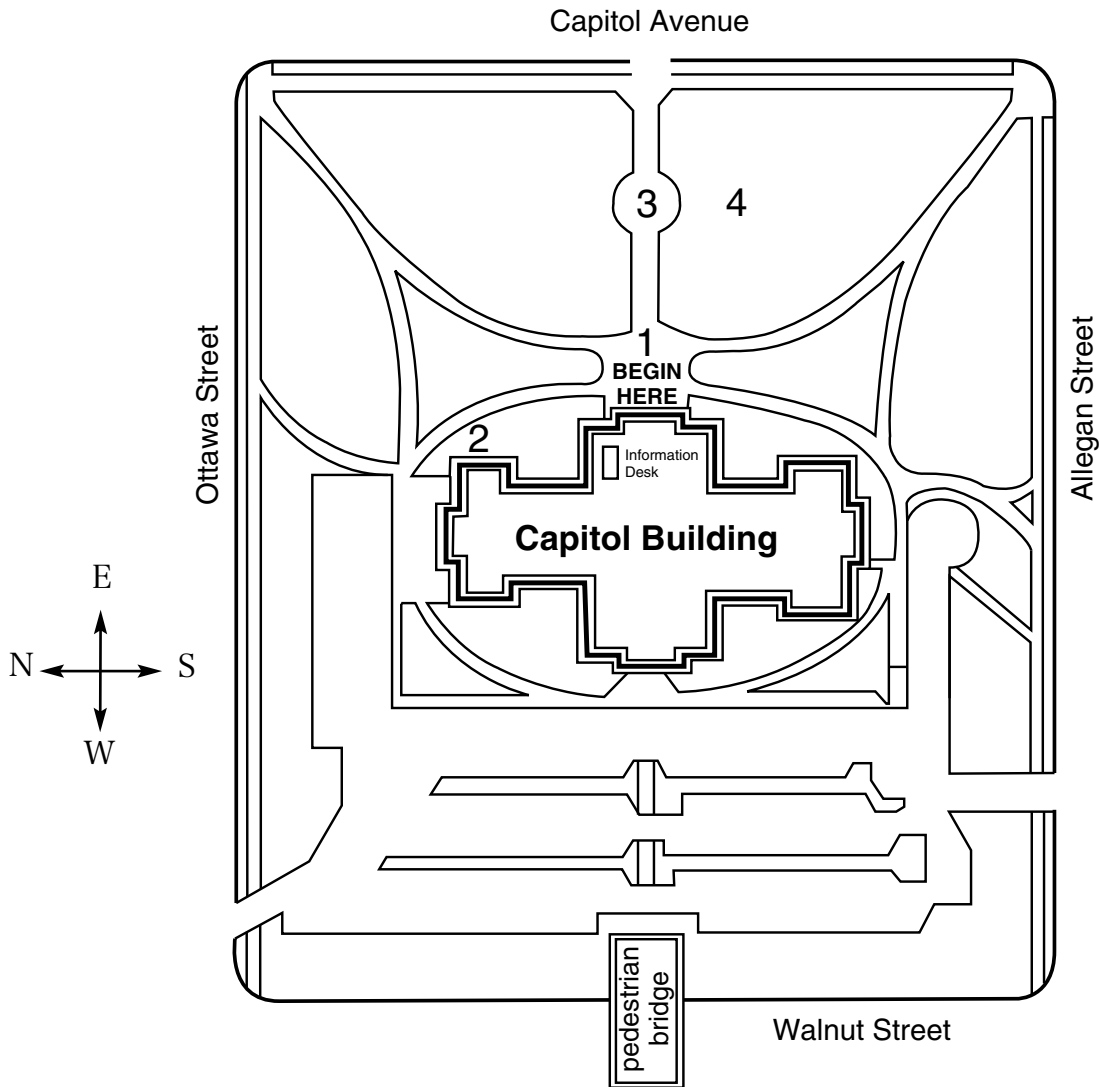
議事堂広場は、多くの種類の樹木、高価な芝生、ミシガン州の歴史を思い起こさせる数々の像やモニュメント、そして夏の美しい花壇を誇りにしています。これらの花壇はミシガン州立大学 (Michigan State University) の景観設計プログラム (Landscape Architecture Program) とオリジナルの広場設計計画を基にし、専門家によってデザインされました。

議事堂正面で曲線を描く二つの長い花壇は多年草の花々と植物を特徴とします。ビクトリア朝様式が忠実に採用されており、それらは、多くのアメリカの庭師にインスピレーションを与えた英国のガーデン・デザイナーであるガートルード・ジキル (Gertrude Jekyll) の影響を受けています。その花壇では開花時期を通じて非常に多くの種類の色を楽しむことができます。各々の花壇は、暖色から寒色まで色のスペクトルを表す花々によって、他の花壇を反映する鏡のようにデザインされています。暖色 (黄系、オレンジ系、赤系) は議事堂入り口近くの花壇の先端部分に植えられています。その花壇が曲線を描くにしたがって、色の領域は離れた末端部に向かって寒色 (青系、紫系、白系) に変化していきます。

議事堂玄関に通じる歩道の側面に配置された花壇とオースティン・ブレア (Austin Blair) の像を取り囲む花壇もまた、精巧なデザイン (一般的には幾何学様式) に合わせて一年生の花々を植え付ける、人気のある歴史的な植付け手法であるカーペット・ベッディング (carpet bedding) を基にしています。

議事堂広場の壮観な花壇の光景は美しく、そして歴史的にも忠実に元の様子が再現されています。ある点ではそれらはヴィクトリア様式の手法とは異なります。しかし、エキゾチックで高価な植付け素材を使うのではなく、私達の花壇はむしろ公共のための使用を意図し、また耐寒性に優れ、できるだけ手入れの手間が省けるようデザインされています。





(1) 議事堂ドームを見上げると、ポーチの上部にあるペディメント（三角形の切妻壁）にある彫像群を見つけることができます。その彫像は議事堂のその他の石造部分と同様にオハイオ州産の砂岩が使用されています。それは彫像の基礎となる石材から盛り上げるように彫刻されているために**浮彫彫像 (relief sculpture)**と呼ばれています。

ネイティブ・アメリカンとしての飾りを施された中央の肖像はミシガン州を象徴しています。その肖像はミシガン州の人々の進歩と未来の象徴として本と球体をささげています。その肖像は足元ある捨てられた武器によって、ミシガン州の荒涼とした過去からの決別を表しています。すき、豊穡の角、そして富の月桂樹に囲まれている着座した右側にある肖像は農業を象徴します。船底にたまった水を汲み取るひしゃくの上に着座し、錨と建造中の船の骨組みによって支えられた左側の肖像は輸送と商業を象徴します。ペディメントの端には製材業と鉱山業に使われる道具が彫刻されています。それはミシガン州の経済的な繁栄に対する誇りと、現在そして未来に対する確信を表しています。

(2) 議事堂北東の角には、花崗岩でできた大きな**すみ石 (cornerstone)**があります。そこには二つの異なる日付が記されています。“1872”は議事堂建設の起工日を意味し、“1878”は竣工を表します。そのすみ石は1873年10月2日の記念式典の際に設置されました。

(3) 議事堂真正面には、ミシガン州の人々に愛され“Civil War Governor (アメリカ南北戦争の知事)”と呼ばれる **オースティン・ブレアの像** (statue of Austin Blair) が立っています。1898年に除幕式が実施されたその像は、特定個人の栄誉を称える議事堂広場内で唯一の像です。1861年から1864年にかけて任務に就いたブレア知事は南北戦争中にミシガン州民をよく組織し、人々を鼓舞する主要な役割を果たしました。大部分は志願兵からなる9万人を超えるミシガン軍は、奴隷制廃止と北部諸州連合を守るために戦いました。ブレア知事は、彼が亡くなる1894年まで人気のある偉大な英雄として深く州民に愛されました。

(4) オースティン・ブレアの像のちょうど南側に位置する巨大な北米東部原産**キササゲの木** (**eastern catalpa tree**) は、アメリカ国内における同種の木の中で最も大きな木の一つです。American Forestry Association’s National Register of Big Trees によって認証されたこの木は、1992年の時点で高さ107フィート(約33メートル)、樹冠の幅85フィート(約26メートル)、そして幹の太さ20フィート以上(約6メートル)が計測されています。

このキササゲの木の全ての部分は非常に大きく、春には巨大な白い花の房がその姿をあらわします。夏季にはハート型の葉は大きいものでは長さ1フット(約30センチメートル)、幅8インチ(約20センチメートル)に達します。秋にみられる10インチ(約25センチメートル)にわたる莢(さや)はその特徴的な形のために“cigars (葉巻)”と呼ばれます。1879年に開所されて以来この議事堂広場で成長を続けるこの木は、まさに“living history (生きた歴史)”です。

さらに詳しくお知りになりたい方へ、、、

州議事堂1階正面入口に位置する Information Desk にて、無料の案内書、“A Tour of Capitol Square”をお求め下さい。その小冊子は、魅力的な議事堂広場の歴史、記念碑、木々、花壇、そして議事堂の建築様式に関する情報とともに、あなたを案内人不要のセルフ・サービス見学ツアーにご案内します。





## ミシガン州議 会議事堂

1992年11月19日 修復



## 議事堂統計データ

高さ—地上からドーム上ポールの最頂部まで 267フィート (約 81メートル)

長さ—420フィート2インチ (約 128メートル)

幅—273フィート11インチ (約 83メートル)

全周—1,520フィート (約 463メートル)

面積—約 1.17エーカー (約 4,734 平方メートル)

建築工事期間—6カ年 (1872年夏から1878年9月26日まで)。1879年1月1日除幕式。

修復作業期間—3カ年、1989年から1992年まで。1992年11月19日再開所。



## ミシガン州基礎データ

州名： 州名“ミシガン”は“大きな湖”を意味するネイティブ・アメリカンの言葉 “Michigama” に由来する。

州のニックネーム：“Wolverine State (ウルヴァリン ステイト)” クズリを意味する。

州都： ランシング (1847 年以降)

合衆国編入： 1837 年に合衆国 26 番目の州となる。

州のモットー： ラテン語で “Si quaeris peninsulam amoenam circumspice” “If you seek a pleasant peninsula, look about you” (もし素晴らしい半島を求めらば、あなた自身の周囲を見回すこと)

州花： The apple blossom (りんごの花) 1897 年採用

州の紋章： 1911 年採用

州鳥： The robin (こまどり) 1931 年採用

州の木： The white pine (ストロブ・マツ) 1955 年採用

州の石： The Petoskey stone (ペトスキー石) 1965 年採用

州の宝石： The Chlorastrolite (緑星石：“green stone”として知られる) 1972 年採用

州魚： The brook trout (カワマス) 1988 年採用

州の土： The Kalkaska Soil Series 1990 年採用

州の爬虫類： The painted turtle (ニシキガメ) 1995 年採用

州の猟獣： The white-tailed deer (オジロジカ) 1997 年採用

州の野の花： The dwarf lake iris 1998 年採用

州の化石： The mastodon (マストドン) 2002 年採用

州のサイズ： 長さ 456 マイル (約 734 キロメートル)、幅 386 マイル (約 621 キロメートル)、陸地面積 59,954 平方マイル (約 155,000 平方キロメートル)、内陸にある湖の面積 1,573 平方マイル (約 4,000 平方キロメートル)、五大湖の面積 38,575 平方マイル (約 100,000 平方キロメートル)

人口 (2000 年の  
国勢調査による)： 9,938,444 人

人口ランキング： 50 州のうち 8 位

州内地の湖の数： 11,037

カウンティ  
(郡)の数： 83

上院議員の人数： 38 名

下院議員の人数： 110 名



—メモ—

